

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年度～平成32年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(おくくじ) 奥久慈森林計画区 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 棚倉森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、福島県東白川郡の棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村の3町1村を対象としている。本計画区の森林面積は49千haであり、そのうち国有林は22千haで、森林面積の44%を占めている。地形、気象、土壌等の自然条件に恵まれているため、林木の生育に適しており、古くから林業活動が産業として定着し、「奥久慈材」や「八溝材」のブランドを有する木材を産する最も人工林化の進んだ地域のひとつとなっている。森林の生育状況は、県内の他の地域に比較して良好であり、スギを主体とする充実した人工林資源を有している。</p> <p>また、本計画区の国有林は、主として久慈川等の源流部に位置し、特に八溝山系は急峻な地形も多く、当該地域の半数が水源かん養保安林又は土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>近年、本計画区内の塙町に国内最大規模の製材工場が稼働したことを契機に木材流通センターなど地域が連携して素材生産から製材、加工、販売までを行う一貫した地域材の流通システムが構築されたことに加え、端材等の林地残材を木質バイオマス燃料等として利活用する取組も進められており、林業・林産業への注目が集まっている地域でもある。</p> <p>このため本事業においては、国有林材の安定供給体制の構築及び再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの利活用等を進めるとともに、主伐・再造林による森林資源の若返りを進めるために必要な路網整備や更新作業を目的とする。また、適切な森林整備を行い、土砂流出の抑制を図るとともに水源涵養機能等の向上を図る。</p>		
	主な事業内容	森林整備	更新面積 886ha 保育面積 7,895ha
		路網整備	開設延長 36.1km 改良延長 4.6km
	総事業費		3,719,200千円
費用対効果分析	総便益(B)	18,139,086千円	
	総費用(C)	4,845,217千円	
	分析結果(B/C)	3.74	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 林業・林産業の注目が集まっている地域であり、本事業の実施が地域の雇用や活性化に寄与するとともに、森林の多面的機能の発揮に資することから事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、路網整備と連携した計画となっている。 ・ 効率性 伐採計画を踏まえた路網整備や更新計画となっており、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。 <p>新規事業採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

別紙様式 7

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：奥久慈森林計画区

都道府県名：福島県
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,425,011	
	流域貯水便益	999,197	
	水質浄化便益	2,240,030	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,472,373	
環境保全便益	炭素固定便益	1,527,760	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	542,912	
	木材利用増進便益	54,505	
	木材生産確保・増進便益	2,613,683	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	11,855	
	森林整備促進便益	1,251,760	
総 便 益 (B)		18,139,086	
総 費 用 (C)		4,845,217	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{18,139,086}{4,845,217} = 3.74$		

